ほん大好き

中央公民館
図書室からの
お知らせです

中央公民館図書室☎42局7200番

INFORMATION Book

今月新しく入りました。

※１月の新刊は、６日（月）からの貸出となります。

一般の本

・祝祭と予感（作＝恩田　陸）
・むらさきのスカートの女（作＝今村夏子）
・背中の蜘蛛（作＝誉田哲也）
・銀座の紙ひこうき（作＝はらだみずき）

子どもの本

・とくべつなひ（作＝山本りくお）
・こねこを ひろったけど そだててみたら…（作＝新井洋行）
・おでんのおうさま（作＝山本祐司）
・おはよう おやすみ ぼくのせかい（作＝マーガレット・ワイズ・ブラウン）

子どものお話の会

歴史民俗博物館で、子どもを対象としたお話の会を行います。親子で聞きに来てみませんか。

●**とき**　１月 25 日(土)午前 11 時から
●**ところ**　歴史民俗博物館
●**問い合わせ**　中央公民館まで

工事のため休館となる期間があります。

中央公民館では、現在、大規模改修工事を行っており、照明の工事などで図書室が休館となる期間があります。詳しい日程は決まり次第、改めてお知らせします。利用者のみなさんにはご迷惑をおかけしますが、ご理解とご協力をお願いします。

※工事の都合により、正面入口が１月から封鎖されますので、右手側の入口から入館してください。また、暖房がつかない・大きな音がする場合があります。

広がる本だな

本は知識を深めるだけでなく、人と人とのつながりを広げてくれます。新たな本との出会いは新たな人との出会いの始まり。広がる本だなでは、新たな本との出会いの場として、毎月おすすめの本を２冊紹介します。今月の紹介者は金子美代子さんです。

ぼくのなまえはへいたろう

作＝灰島かり
絵＝殿内真帆

ぼくは名前を呼ばれるたびにクラスの子にからかわれる。自分の名前のへいたろうが嫌いだ。友だちにも名前で苦労している子がいる。名前を変えたいけどすごく難しいらしい。名前にも流行があったり、昔の人は何回も変えたりした。世界には子どもを守るためにいろんな名前の付け方がある。どこの国でも親たちは子どもの幸福を願って名前をつける。両親の思いのこもった名前に恥じないように向き合っていこうと思う。

あいたくなっちまったよ

作＝きむら　ゆういち
絵＝竹内通雅

家族の顔を思い浮かべながら家路についたやまねこのお父さん。岩かげにかくれたつもりの子ねずみに舌なめずりしながら近づくと、子ねずみが「おまえなんかこわくないぞー。ぼくの父ちゃんは強くて、めちゃめちゃかっこよくて、おまえを許さないぞ」と叫んだ。やまねこはよれよれの父ちゃんねずみを見た。怯えながらも子どもを守る父親の姿に自分を待っているかわいいほうやを思い浮かべる。表紙の大迫力のやまねこの眼には愛する妻と子の姿が映っていた。

／開館時間は午前９時から午後５時まで（１階ロビー・返却窓口は午後９時 30 分まで）。
／１月の休館日は、１日（水・祝）～３日（金）、８日（水）です。／返却期限が過ぎている本は、至急ご返却ください。